

【表2】まちづくりのキーワード-複数選択-(%)

	今回(平成20年)	前回(平成10年)
① 安心・安全	(59)	自然の豊かさ (44)
② 自然の豊かさ	(49)	安心・安全 (27)
③ 活力・にぎわい	(40)	心の豊かさ (25)
④ 便利さ	(39)	経済的な豊かさ (25)
⑤ やさしさ・思いやり	(39)	活力・にぎわい (22)
⑥ 快適さ	(39)	健康 (18)
⑦ 経済的な豊かさ	(39)	快適さ (17)
⑧ 生きがい	(30)	教育・文化 (16)
⑨ 教育・文化	(29)	生きがい (14)
⑩ 心の豊かさ	(27)	便利さ (12)

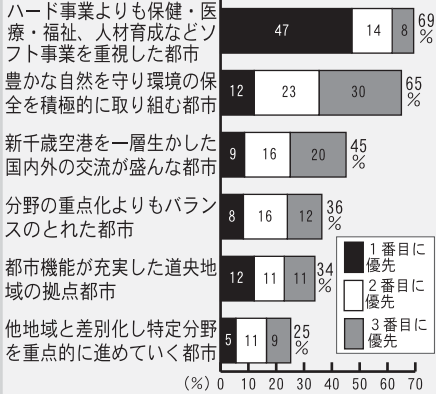
今後の千歳のまちづくりを表すキーワードでは、「安心・安全」がすべての年代でもっとも多く支持されました。10年前と比べてもその割合は大きく伸びています。2番目には「自然の豊かさ」が

キーワード



今後のまちづくりのキーワードは安心・安全。その実現には世代を超えた支え合いが欠かせません(写真は千歳っ子見守り隊の活動)。

【図7】今後のまちづくりの目指す方向性



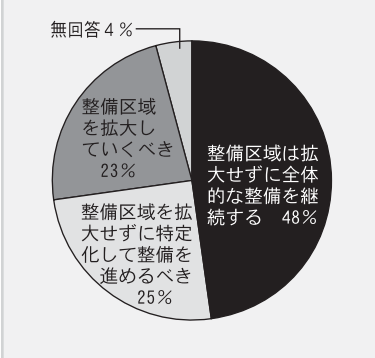
今後のまちづくりの目指す方向性は、「ハード事業よりも保健・医療・福祉、人材育成などソフト事業を重視した都市」と「豊かな自然を守り環境の保全を積極的に取り組む都市」にそれぞれ7割近い

今後の方向性

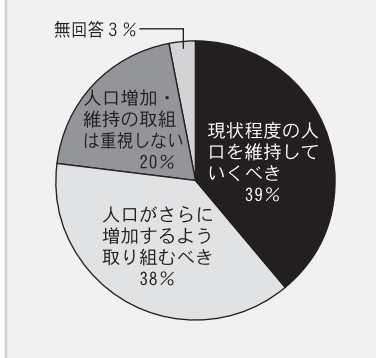
され、年代による指向の差が表われました(表2)。

あげられませんでした。これは40代以上の年代から多く支持されました。なお、18〜29歳は「活力・にぎわい」、30代は「便利さ」が支持

【図9】都市整備の方向



【図8】今後の望ましい人口規模



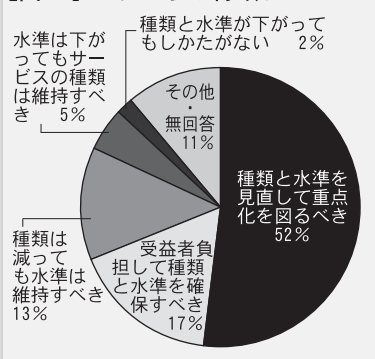
また、都市整備の方向については、「整備区域は拡大せずに全体的な整備を継続する」がほぼ半数を占めました(図9)。

支持がありました。特に「ソフト事業を重視した都市」は、優先順位でも「1番目に優先すべき」の項目で圧倒的に支持されました(図7)。

今後の望ましい人口規模は、「現状程度を維持していくべき」と「さらに増加するように取り組むべき」がともにほぼ4割となり、意見が二分しました(図8)。

今後のまちづくり _____ 【ソフト面を重視した安心・安全なまちを希望】

【図10】これからの行政サービス



今後の行政サービスのあり方は、「種類と水準を見直してサービスの重点化を図るべき」が過半数を超えました。すべての年代から高い支持がありました(図10)。

今後の行政サービス

【表3】今後のまちづくりで特に重要なこと-上位5つまで選択-(%)

① 病院などの医療環境	(57)
② 道路や歩道の除排雪	(35)
③ 働く場の確保	(31)
④ 子育ての環境や支援	(29)
⑤ 小中学校の教育環境	(19)
⑥ 高齢者の自立支援	(18)
⑦ 騒音などの公害防止	(18)
⑧ バスの利用しやすさ	(17)
⑨ 災害などの防災体制	(17)
⑩ ごみの収集・リサイクル	(16)

今後のまちづくりで特に重要なことでは、「病院などの医療環境」がもっとも多く選ばれました。その割合は50%を超え、ほかの分野を引き離しています(表3)。

今後の重要項目



地域の活力に必要な「働く場の確保」(写真は市職員採用候補者登録試験)



北国ならではの「除雪」



千歳の医療の中核を担う市民病院